



## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大内 雅雄  
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	1,071	△20.2	△78	—	△77	—	△275	—
2020年6月期第3四半期	1,343	△7.2	52	△56.3	53	△55.9	35	△59.0

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △275百万円 (—%) 2020年6月期第3四半期 36百万円 (△59.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△18 81	—
2020年6月期第3四半期	2 42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	3,343	2,993	88.1
2020年6月期	3,649	3,311	89.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 2,945百万円 2020年6月期 3,263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00
2021年6月期	—	0 00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,293	△26.7	△144	—	△143	—	△342	—	△23	29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年6月期3Q	14,791,600株	2020年6月期	14,791,600株
2021年6月期3Q	140,600株	2020年6月期	145,800株
2021年6月期3Q	14,648,025株	2020年6月期3Q	14,635,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (2021年6月期3Q : 140,600株、2020年6月期 : 145,800株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、政府主導の各種政策により社会生活や経済活動レベルは段階的に引き上げられている中で持ち直しの動きが見られたものの、いまだ収束の目処は立たず、2021年1月には感染再拡大に伴い緊急事態宣言が再発令されるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化及び収益改善の実現を目指し、カーシェア車載機の後継機の開発に着手したほか、工場や工事現場などで働く作業員の安全を見守る安全衛生支援サービス「Work Mate」やAI解析で製造業のお客様の製品不良要因を特定し、品質改善と技術承継をサポートする「D-COLLECT」のブラッシュアップや製品展開に注力してまいりました。また2020年12月にはIoT製品・サービスの認知度向上を目的として広報マーケティング室を新設したほか、2021年1月には「第5回スマート工場EXPO」に出展するなど、新規顧客の獲得に向けた販促活動にも積極的に取り組んでまいりました。

なお、当社グループにおいてはテレワークや時差出勤などを継続するとともに、リモートシステムを活用した商談など感染症拡大防止への対応を図りながら営業活動を行っております。また2020年9月25日開催の定時株主総会で承認された新経営体制の下で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場環境の変化も踏まえた上で、新しいサービスの加速度的な販売拡大を図ることを最優先課題と位置づけ、事業ポートフォリオの最適化や今後の事業展開について抜本的な見直しを行っております。この過程において、当社グループが開発・販売する会議室管理サービス「ROOM CONCIER」に関しまして、現在の事業環境の変化を踏まえ、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったことから、第2四半期連結会計期間において減損損失61百万円を特別損失に計上することといたしました。「Work Mate」及び「D-COLLECT」につきましては、積極的な広報・販促活動を実施している効果もあり、受注件数は着実に増加しております。

また、2020年11月6日に公表しましたとおり、当社が生産・販売しているテレマティクス車載機製品の一部に不具合の可能性が確認され、当該製品の自主回収に係る費用負担見込として159,000千円を第1四半期連結累計期間に特別損失に計上しましたが、損害見込額を精査した結果、同自主回収に係る費用負担見込が当初想定より減少する見込みとなったため、当第3四半期連結会計期間においてその差額39,281千円の戻し入れを行い、特別損失を減額することといたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,071百万円（前年同四半期比20.2%減少）、営業損失は78百万円（前年同四半期は営業利益52百万円）、経常損失は77百万円（前年同四半期は経常利益53百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は275百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### I o T事業

I o T事業は、カーシェア車載機の受注減及びテレマティクス車載機の自主回収開始後における当該製品の出荷停止の影響により、売上高、セグメント利益とも前年同四半期を大きく下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は388百万円（前年同四半期比31.8%減少）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期はセグメント利益81百万円）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、紙幣鑑別センサモジュールの受注増加が通信アミューズメント機器の新型コロナウイルスの影響による落ち込みをカバーしたことにより、売上高、セグメント利益とも概ね前年同四半期と同水準で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は425百万円（前年同四半期比8.5%増加）、セグメント利益67百万円（前年同四半期比1.2%減少）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、医用分野における開発案件終了や規模縮小の影響を受け、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は257百万円（前年同四半期比32.5%減少）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比79.4%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,343百万円となり、前連結会計年度末から306百万円減少しております。主な内容としましては、現金及び預金が157百万円、受取手形及び売掛金が84百万円減少しております。

#### (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は350百万円となり、前連結会計年度末から11百万円増加しております。主な内容としましては、未払金が116百万円増加し、支払手形及び買掛金が38百万円、電子記録債務が49百万円減少しております。

#### (純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は2,993百万円となり、前連結会計年度末から317百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失275百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の連結業績予想につきましては、新経営体制のもとで事業ポートフォリオの最適化や今後の事業展開について抜本的な見直しを行っていること及び、テレマティクス車載機製品の自主回収による当社業績への影響が不透明な状況であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や業績動向等に基づき、業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日（2021年5月7日）公表の「特別損失の減額及び通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,724,564	2,567,097
受取手形及び売掛金	443,393	358,512
電子記録債権	32,590	—
製品	64,237	83,550
仕掛品	4,162	5,013
原材料及び貯蔵品	54,681	59,420
その他	29,396	42,235
貸倒引当金	△341	△359
流動資産合計	3,352,685	3,115,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△23,073	△26,124
建物及び構築物(純額)	42,143	39,092
工具、器具及び備品	199,726	210,602
減価償却累計額	△171,968	△183,114
工具、器具及び備品(純額)	27,758	27,487
建設仮勘定	—	13,701
有形固定資産合計	69,901	80,281
無形固定資産		
その他	170,594	106,237
無形固定資産合計	170,594	106,237
投資その他の資産		
繰延税金資産	17,195	5,204
その他	39,526	36,347
投資その他の資産合計	56,722	41,552
固定資産合計	297,218	228,071
資産合計	3,649,903	3,343,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,871	49,868
電子記録債務	109,853	60,640
未払金	16,365	133,303
未払法人税等	13,384	550
賞与引当金	1,826	6,751
製品自主回収関連損失引当金	—	12,250
その他	46,726	27,543
流動負債合計	276,027	290,907
固定負債		
株式給付引当金	42,015	40,151
退職給付に係る負債	20,691	19,002
固定負債合計	62,706	59,154
負債合計	338,734	350,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	1,718,276	1,398,412
自己株式	△51,262	△49,434
株主資本合計	3,263,862	2,945,827
新株予約権	14,876	14,876
非支配株主持分	32,429	32,777
純資産合計	3,311,168	2,993,481
負債純資産合計	3,649,903	3,343,543

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	1,343,220	1,071,563
売上原価	1,005,778	870,667
売上総利益	337,442	200,895
販売費及び一般管理費	285,225	278,946
営業利益又は営業損失(△)	52,216	△78,050
営業外収益		
受取利息	274	271
為替差益	—	16
生命保険配当金	304	351
未払配当金除斥益	268	217
その他	56	87
営業外収益合計	903	943
営業外費用		
為替差損	60	—
その他	5	6
営業外費用合計	66	6
経常利益又は経常損失(△)	53,053	△77,114
特別利益		
受取保険金	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
固定資産除却損	584	—
製品自主回収関連損失	—	107,469
製品自主回収関連損失引当金繰入額	—	12,250
減損損失	—	61,391
特別損失合計	584	181,111
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,547	△258,225
法人税、住民税及び事業税	18,890	4,924
法人税等調整額	△2,949	11,990
法人税等合計	15,941	16,915
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,605	△275,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,190	348
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	35,415	△275,489



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,605	△275,140
四半期包括利益	36,605	△275,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,415	△275,489
非支配株主に係る四半期包括利益	1,190	348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	570,188	392,373	380,659	1,343,220	—	1,343,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	570,188	392,373	380,659	1,343,220	—	1,343,220
セグメント利益	81,284	68,266	37,918	187,468	△135,251	52,216

(注) 1. セグメント利益の調整額△135,251千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,251千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	388,802	425,645	257,116	1,071,563	—	1,071,563
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	388,802	425,645	257,116	1,071,563	—	1,071,563
セグメント利益又は損失 (△)	△16,527	67,430	7,821	58,724	△136,775	△78,050

(注) 1. セグメント利益の調整額△136,775千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△136,775千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

セグメント上I o T事業に区分されるROOM CONCIER (会議室管理システム) について営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなる見込みであることから、所有する事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては61,391千円であります。